

歴史・文化を訪ねて…

～民俗行事「おひながゆ」を体で感じてみませんか～

上野村に残る文化・伝統に触れる 1泊2日の旅。
旧黒澤家住宅の囲炉裏で、田舎の味「おやき」を食べ、古くから上野村で行われているおひながゆを見学。
そして、最後は打って変わって、超近代的な東京電力神流川発電所の見学。
上野村を知る第一歩はここから始まります。

日程

平成 21 年

4月2日(木) 14:00 集合

～3日(金) 12:00 解散

1日目

旧黒澤家住宅の囲炉裏でおやき試食
村内案内(ガイド付き)

国民宿舎やまびこ荘宿泊

2日目

早朝(6時頃から)おひながゆ見学
おひながゆの会場でお粥の朝食
東京電力神流川発電所見学

参加費

お一人様(1泊2食付)

2名様1室利用 **10,000** 円

(2日目の朝食は、会場でのお粥となります)

3名様1室利用時はお一人様 1000円引

1名様1室利用時は 1000円増

「おひながゆ」って?(国選択無形民俗文化財)

「おひながゆ」の起源は、大昔、川に流され疲れ果て、たどり着いたお姫様を、粥を炊いて介抱したのが始まりであるといわれています。お城の入り口を、村の北側の小高いところにある天神様の社に向かって作ったりすると、子供達の学力向上祈願の意味も込められているのかもしれませんが。

寒い冬が終わりに近づく3月になると、子供達は「おひながゆ」の準備を始めます。神流川の河原に集り、協力合って石を積み上げ、お城と呼ばれる円形の囲いを作ります。当日は、早朝6時頃からお城にお雛様を飾り、石で築いたかまどでまきを燃やし、鍋で粥を炊いてお雛様にあげ、子供達も朝食を食べます。早春の一時をお城で仲良く楽しく過ごします。



旧黒澤家住宅(国指定重要文化財)

江戸時代、山中領上山郷(現在のの上野村)の大総代を務めた黒澤家の住宅。将軍家に鷹狩りの巣鷹を献上するため、御林守として御巢鷹山の管理も任せられていました。18世紀中頃の建築といわれ、板葺の屋根など当時の旧家の面影をよく残しています。



東京電力神流川発電所

「平成の名水百選」に選ばれた神流川の源流域にある世界最大級の揚水式発電所。地下500mに作られている巨大地下発電所を見学します。

国民宿舎やまびこ荘(塩ノ沢温泉)

平成13年7月にリニューアルオープンした「やまびこ荘」館内の木製品は上野村の木工家の作品を使用しています。塩ノ沢温泉は大浴場の他、洞窟風呂と露天風呂でも楽しめます。山の幸・川の幸いっぱい夕食を召し上がっていただき、静かな早春の上野村を体感してください。

上信電鉄下仁田駅から送迎あり(要予約)

募集〆切 3月20日(金)

定員 25名

最低施行人数 5名

主催:上野振興公社 協力:上野村教育委員会・上野村役場観光推進室

お申し込み・お問い合わせ

(株)上野振興公社 0274-59-2584